

Théâtre des Opérettes Françaises-12

テアトル・オペレッタ・フランスーズ-12

監修：村田健司 全字幕つき

12月28日(水) 19:00開演 (18:30 開場) 入場料：3000円

会場：アトリエ・デュ・シャン スタジオA (03-5387-0977)



メサジェ「レ・プティト・ミシュール」

～ミシュール家の可愛い姉妹～

ピアノ／門 真帆

時代はフランス革命、イフ侯爵は、商人のミシュール夫妻に生まれたばかりの一人娘を預けてイギリスに亡命する。それから17年・・・

将軍となり 立派に帰還したイフ氏を待ち受けるのは、双子の姉妹だった・・・

- マリー・ブランシュ／村井裕子 ... 双子の姉。妹より少しだけ策略家。
- ブランシュ・マリー／三枝祐子 ... 双子の妹。マリッジブルーになる場面あり。
- ガストン／木村雄太 ... イフ将軍に見込まれ、一人娘との将来を約束されている。
- ミシュール氏／吉永研二 ... チーズ職人で商人。やり手の妻に頭が上がらない。
- ミシュール夫人／浅田 亮子 ... 夫と共にチーズ専門店を切り盛りするやり手妻。
- アリストイード／高橋拓真 ... ミシュール夫妻の店で働く青年。双子に想いを寄せている。

～フィアンセからの挑戦状～

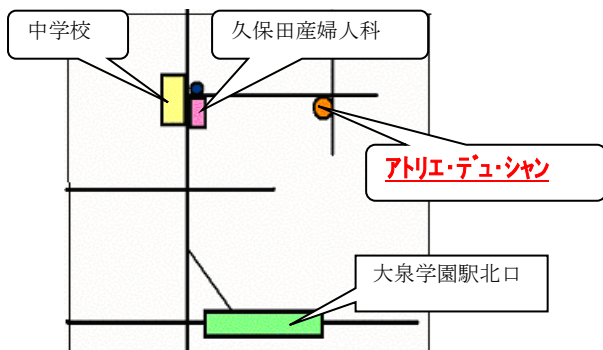
メサジェ「ヴェロニク」

ピアノ：染矢早裕子

フロレスタンは、放蕩生活を送る若者。青春を謳歌することこそが全て。そんな彼の借金を発端にして起こる騒動。結婚を夢見てパリにやって来た婚約者ヴェロニクは、ひよんなことからフロレスタンの正体を知ってしまい・・・



- エレヌ(ヴェロニク)：千野由紀子
(地方の名家の令嬢。幸せな結婚を夢見ているが・・・)
- フロレスタン子爵：笹倉直也
(遊び好きがたたって、伯父に結婚を強要されるが・・・)
- エルメランス(エステル)：竹内知子
(エレヌの叔母で未亡人。姪の結婚を無事見届けたい。)
- アガーテ：石井 愛
(花屋の主人コクナールの妻。フロレスタンと不倫中。)
- コクナール：党 主税 (花屋タンブル・ドウ・フロールの主人。国民軍の指揮官に憧れる)



お問合せ先：アトリエ・デュ・シャン

〒178-0063 練馬区東大泉 3-29-20

アトリエ・デュ・シャン 代表：村田健司

TEL/FAX：03-5387-0977

Email：info@atelier-d-c.com

ホームページ：www.atelier-d-c.com

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは・・・？

テアトル・オペレッタ・フランセーズとは、日本語で「フランスオペレッタ劇場」
「パリの粋」アンドレ・メサジェのオペレッタを、大泉学園を本拠地に上演しています。
2011年6月にスタート、今回で12回目になります。
日本ではあまり知られていないフランス・オペレッタですが、その軽やかな音楽と、
分かりやすく楽しいお話は、誰からも愛される素敵なものばかりです。
1回の公演で2-3演目、日本語のセリフによるお芝居を挟み、
演奏はフランス語で日本語字幕付き、初めてご覧になる方にも楽しめる内容、構成になっております。

メサジェのオペレッタ (過去に上演したものは以下の通り)

ムシュー・ボーケール バラは恋の花

舞台はイギリスのバース。フランス大使館つきの床屋
ムシュー・ボーケールは、社交界の花レディー・マリーに想いを寄せている。
彼女に近づくため身分を偽るが・・・「本当の愛」は手に入るのか？・・・

クー・ドゥ・ルリ 恋のひと揺れ

クリスマス休暇直前の軍艦モンテスキュー号に突然の視察。代議士と
その娘がやって来た。船長と海軍士官、そして旅の一座の女優を巻き込んでの大騒動。

ヴェロニク フィアンセからの挑戦状

結婚を夢見るエレヌは、婚約者が浮気者と知って激怒。名前と身分を
偽り、彼に近づき、ギャフンと言わせてやろうと試みるが・・・

パッシオネマン 情熱的に

アメリカのビジネスマンステューブソンは、ビジネスのためにフランスにやって来た。
妻の浮気を防止するため、青い眼鏡と白いカツラを被せて、老婆のフリをさせる・・・

可愛い郵便局長 プレシニー村騒動

1900年のプレシニー村に、パリジェヌがやって来た！
村には噂好きな女たち、やる気のない郵便局員と配達係、世話役の公証人夫妻、
そして中世の貴族の伝統を守る子爵が居た。

レ・プティト・ミシュー ミシュー家の可愛い双子

フランス革命のただ中、イフ侯爵は一人娘をある商人に託し、イギリスへ逃亡した。
それから17年、将軍として帰還したイフ侯爵を迎えたのは、双子の姉妹だった・・・

シプリアンはお役御免 乱入男の幸せの行方

あるお芝居の上演中、舞台に上り込んでワメキ散らす男。
その男を注意しようとする一人のマダムが参戦。そのうちに何故か男とマダムは意気投合、
舞台はメチャメチャに・・・

ベアルネーズ ベアルンの娘

16世紀末のパルマ公国が舞台の歴史パロディー。
独裁者パルマ公爵のもとにふたりのフランス人がやって来て大騒ぎ。
死刑か鞭打ちの刑か？ でも単純な話。 だからハッピーエンド??



アトリエ・デュ・シャン (歌の工房) 主宰: 村田健司 (バリトン・レジェ)

東京藝術大学音楽科卒業、フランス政府給費留学生としてパリ音楽院に留学。
中山悌一、古沢淑子、疋田生次郎、
ジャック・ジャンセン、カミーユ・モラーヌに師事。
1984年 文化庁芸術祭優秀賞 受賞 二期会会員。

フランス人と日本人が共有する豊かな感性にスポットを当て、フランス音楽を楽しみながら
言葉の壁を乗り越えることをモットーに指導、音楽活動をしている。ゆめりあホールでは、
アトリエ・デュ・シャンのメンバーによる、フランス・オペラ・ハイライトのコンサート「アール・リリック」
「パリの粋」アンドレ・メサジェのオペレッタを上演する「テアトル・オペレッタ・フランセーズ」などを
定期的上演している。